

JODA national team trials

2023年 JODAナショナルチーム 最終選考会 海陽

計測ガイダンス 1/2

1. 規則 セーリング競技規則/セーリング装備規則 2021-2024、 国際OP級クラス規則 2022

2. 一般要件 主催者によって任命された計測員は 大会計測に対し責任を持つものとする。
装備の検査が 計測員の要求を満たした時、艇は 競技する資格がある。

3. レース前計測 (10:30 ~ 16:30 昼休憩アリ)

3.1. (a) 計測予約の受付は10:00~ **A** 計測受付にて行います。

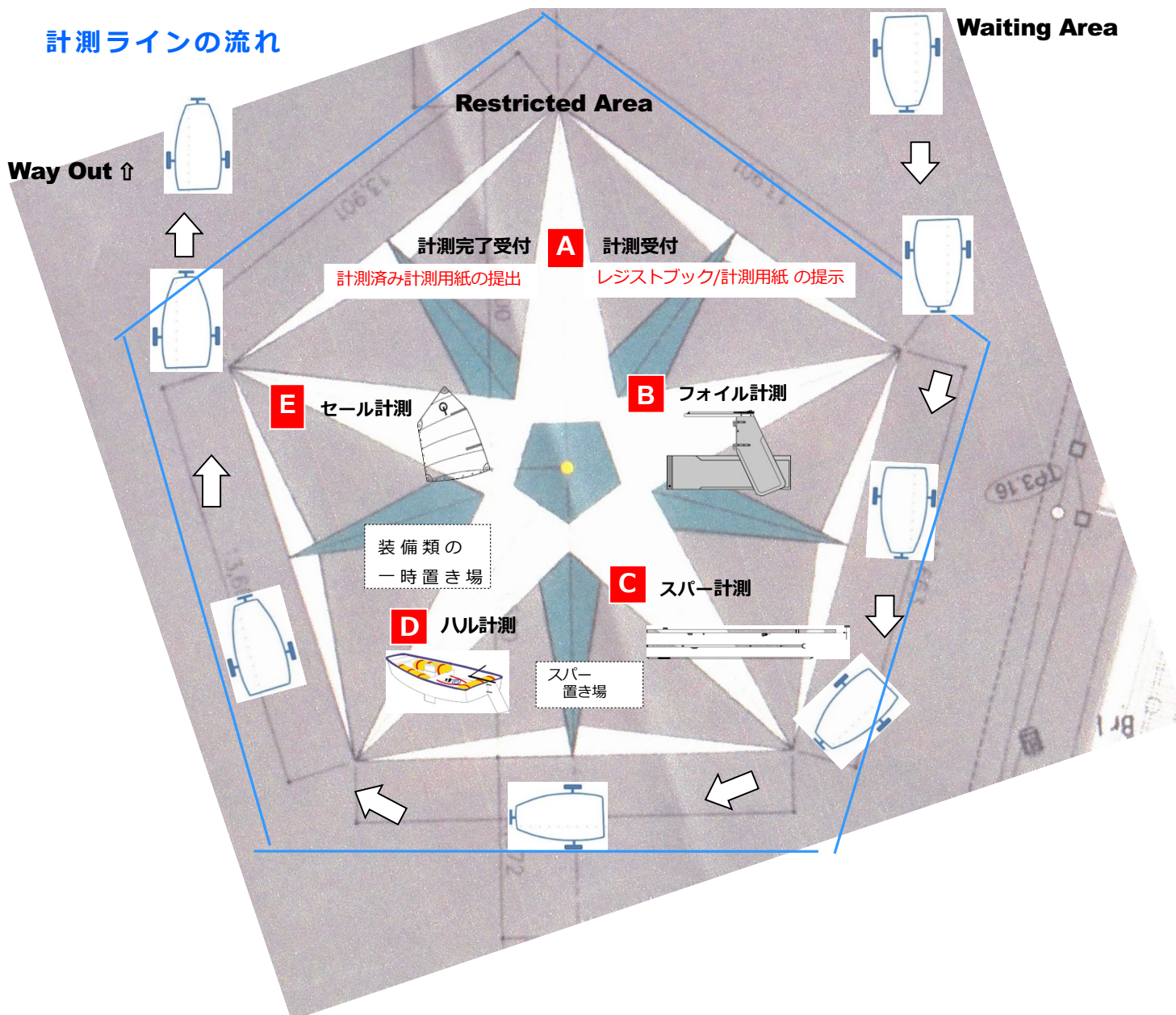
3.1. (b) 原則として 選手、コーチ、監督 以外は、計測場に入場しない。

3.1. (c) 選手の欠場に理由がある場合には、責任ある代理人が 選手を代行する事ができる。

3.2 計測受付: ステーションA

3.2. (a) ①大会計測用紙、 ②レジストブック (計測証明書 7種類) を提出すること。

3.2. (b) 実際にレースで使用する装備品の 計測証明書だけを (付箋を付けるなどして) 用意すること。



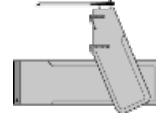
JODA national team trials

2023年 JODAナショナルチーム 最終選考会 海陽

計測ガイダンス 2 / 2

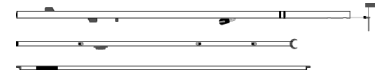
3.3 フォイル：ステーション B

- 3.3. (a) シリアルNo. の一致
- 3.3. (b) ダガーボード にハンドルと認められるロープがついていないか？
- 3.3. (c) ティラーとエクステンションを合わせた長さが1200mm以内か？



3.4 スパー：ステーション C

- 3.4. (a) シリアルNo.の一致
- 3.4. (b) マスト = カラーバンドはハッキリと記されているか？
- 3.4. (c) ブーム = バングロープの長さが、艀装した状態で ブームまで届かないこと。



3.5 ハル：ステーション D

- 3.5. (a) プラークNo. の一致
- 3.5. (b) もやいロープの浮力、直径5mm 以上 長さ8 m以上。（クラス規則 4.3 b）
- 3.5. (c) エアバッグの確認。（クラス規則3.2.7.1）
- 3.5. (d) – 1 JODA大会で重量計測を受けたことがないノリは重量計測を実施する。
– 2 従って上記のとおり免除艇は ハルが濡れた状態でも計測を行う事ができる。
– 3 2022年全日本以後の新艇または JODA全日本で未使用のノリは乾燥状態であること。
* 補正重量を取り付けられたノリで補正が外れてしまっている場合は申し出ること。
(クラス規則 3.2.8.2)



3.6 セール：ステーション E

- 3.6. (a) セールラベル/ボタン No. の一致
- 3.6. (b) デジタル国籍文字/ナンバーは、基本的に認められないが、特例として 2016年 8月14日以前に新品または セールNo.変更として計測されたセールの使用は認められる。
2016年 8月15日以降に新規 または 再計測された デジタル表記のセールは認められない。



3.7 計測完了：ステーション A

- 3.7. (a) 計測が完了したら 計測用紙に計測員のサインがある事を確認して計測受付へ提出すること。
- 3.7. (b) 計測場を退場する前に、各装備品に 大会ステッカーが貼られている事を確認すること。
- 3.7. (c) もしも 大会中に ステッカーが 剥がれた場合は、テクニカル委員会に申し出て、代りのステッカーを貼ること。

4. その他

- 4.1 電子機器はコンパスと時計機能のみを認める。GPS機能、風向風速、風振れ、艇速、艇の方向、位置に関する機能を持つ装置は禁止する。(NOR.11.9)
- 4.2 (1) マスト カラーバンドのラインが不鮮明
(2) 黒スパーに紺色バンドなどの 色コントラストが はっきりしないものは、修正を要求される。
- 4.3 シリアルナンバーが 判読不能な フォイル、スパーは 選考会前に再計測を受けること。
- 4.4 装備品の損傷交換時のために用意する 予備の装備品についても 計測証明書とシリアルナンバーの判読をあらかじめ 確認しておくこと。